

40

香川県

▼ 瀬戸内国際芸術祭を中心としたインバウンド推進プロジェクト

海外からの来場者を呼び込み 国際交流を強化

— 現代アートで地域を活性化 —



2019年の「瀬戸内国際芸術祭」では、海外からの来場者をより多く迎えた Photo: Miyawaki Shintaro

寄附活用事業の概要

アジア各国からの来場者の受入態勢を強化

2010年から3年に一度のトリエンナーレ方式で開催している「瀬戸内国際芸術祭」は、現代アートを活用して地域の活性化を目指す取組であり、回を追うごとに盛り上がりを見せています。芸術祭の開催年以外にもアート作品を継続展示するなど、地域が一体となって交流人口の拡大に向けた取組を行ってきました。本事業では、2019年に開催された芸術祭に向けて、特にアジア各国からの来場者の受入態勢を強化しました。多言語対応スタッフを育成するとともに、繁体字、簡体字、ハングルで記載されたパンフレットや案内板を新たに用意したことで、よりスムーズな運営につながりました。

寄附活用事業の成果

世界各国からの来場者が増え、 経済効果が30%アップ

1. 「瀬戸内国際芸術祭」の来場者数、来場者の外国人割合がともに増加
2. 県内外国人延宿泊者数が大幅に増加
3. 特にアジア各国からの来場者受入態勢が整い、円滑な案内につながった



多くの外国人ボランティアスタッフが芸術祭に参加した Photo: Miyawaki Shintaro

事業分野

文化・芸術・スポーツ

事業期間

2018年4月～2020年3月

総事業費

245,593千円

寄附額

27,000千円

寄附件数

5件

寄附企業名

株式会社ベネッセホールディングス、アサヒグループホールディングス株式会社、鹿島建設株式会社、日本たばこ産業株式会社、ハヤカワ電線工業株式会社

■ (SDGs) 関連するゴール



地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

従前より寄附をいただいていた芸術祭の協賛企業等から企業版ふるさと納税を活用した寄附をいただくことが多いです。寄附企業には、芸術祭における活動や展示作品などを取りまとめた記録集を贈呈するとともに、次回の芸術祭に向けた準備の進捗状況やイベントなどを伝えるメールマガジンを発行するなど、寄附をいただいた後においても、寄附企業との関わりを大切にしていることが継続的な寄附につながっています。多くの寄附企業が、芸術祭での受付業務や作品制作のボランティア活動、自社ホームページで芸術祭を盛り上げる活動など、自発的な取組を通じて事業をサポートしてくれています。

寄附企業 寄附の経緯・効果

過疎化が進む瀬戸内海の美しい島々に活力を取り戻そうとする芸術祭の趣旨に賛同して継続的な寄附を行っています。休校していたおしまいの小中学校の再開や、国立ハンセン病療養所がある大島への定期航路の就航、休耕田となっていたおしまいの豊島の棚田の風景の復活など、芸術祭が地域の活性化に寄与していることも寄附のモチベーションにつながっています。